



発行：絆の里いちき
令和5年9月15日

NO.5

柱松、 やります！

開催日時…10月8日(日) 17:00～

市木古式十五夜柱松「火祭」を、地域連携「絆の里いちき」で運営することになりました。より多くの地元の方に関心を持っていただき、参加いただけるよう、祭りに先立つ準備段階の様子を集めてみました。

伐り出し

火を投げ入れる「柱松」は松の木で作られます。天上に大蛇が上ると大雨大風をもたらして人々を苦しめるとされ、もともとそれを防ぐために考え出された行事です。松の皮が大蛇のうろこに見立てられ、その松の切り出しは人々の切なる願いを込める神聖な行いです。



わら縄織い

柱松を支える16メートルのわら縄を稲わらでなう。



巣作り

柱松の上部は、火を投げ入れる「巣」というものを作り付けます。そのために葦を編んだり、椎や竹、扇子、五色吹き流し、などで飾り付けをします。



子ども柱松

子どもたちにも故郷を感じてもらおうと発案された子ども柱松。ゴムボールにひもを付けた手松を投げます。小学校でコロナ禍も毎年地元の人の協力を得て、校庭で続けてきました。



松明作り

松明作りは、これまで河野義孝さんが一手に引き受けてくれています。後継者が求められています。

現在は投げ上げの飛距離を伸ばすため、缶の中に重りを入れたものを松明の中に忍ばせてあります。



防災のつどい



今年度は中央部（中福良・古都・平田・ハケ谷）を対象として実施しました。決まった避難場所がないため、各地区ごとに集まって話し合うことから始めました。



買い物支援バス

久しぶりに参加者のリクエストに応じて日南に出かけました。バスの運転手が第一回目の買い物支援バスの時に運転した人で、その時の話を道中で聞かせてくれました。

民生委員主任児童委員協議会会長の仁田さんが役員として参加し、行きのバスの中の参加者の掴

みはバッチリでした。

バスの乗降時に踏み台は必須アイテムですが、バスの中のステップも上がりにくそうです。



石波地区盆踊り

石波の盆踊りも何年かぶりに復活。前夜祭も含め、久しぶりに和やかな集いになりました。



絆の里いちき事務局（串間市役所市木支所内 担当：佐藤明子）

TEL：0987-71-5011 FAX：0987-71-5012